

計画名称

薩摩半島北西部における

高速交通網の活用と、都市と農山村との連携強化による暮らしやすい生活環境づくり（防災・安全）

【事業主体】鹿児島県、薩摩川内市、阿久根市、さつま町、長島町



計画の目標・計画期間

南九州西回り自動車道、北薩横断道路の整備と合わせたアクセス道路の整備、高速交通網と港湾・漁港等の物流拠点との有機的な連携、都市内の円滑な交通確保及び防災機能の強化により、農産物や水産物を生かした農林水産業の振興や川内川沿いの豊かな自然を活用した地域振興を支援し、活力あふれる生活環境を形成する。〔平成24年度（補正）～平成25年度（2箇）〕

道路利用者

法面危険箇所“2箇所”を修繕し危険箇所の対策が完了した

歩道“約2.4km”が整備され歩行者等の安全性が向上した

舗装“約20.3km”が修繕され通行車両の走行性が改善された

要素事業の進捗状況

単位：箇所

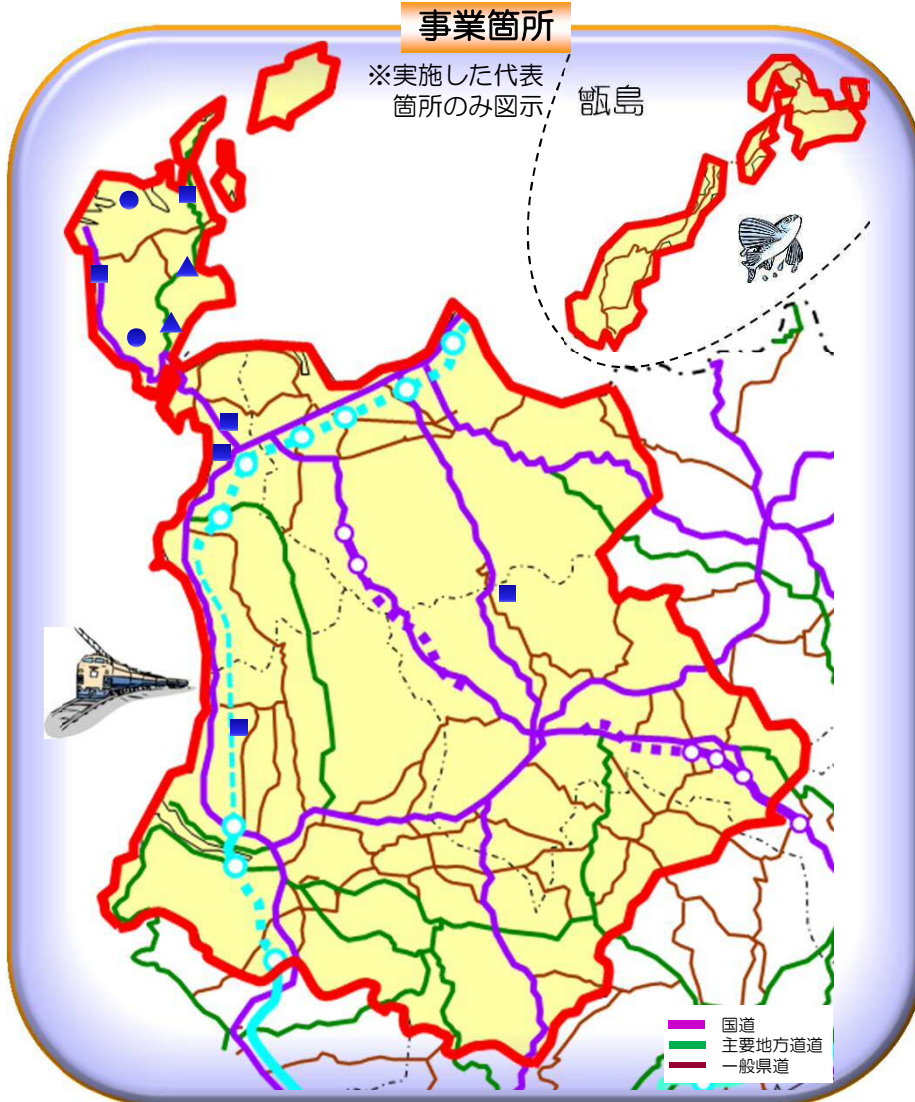
事業区分	区分	工種	計画	実施	完了		備考	
					完了	継続		
A：基幹事業	市町村	災害防除	●	1	1	1	—	法面对策
		歩道整備(指標①)	▲	1	1	1	—	路肩部カラー舗装
		舗装補修(指標②)	■	5	5	3	2	舗装補修
		道路改良	◆	—	—	—	—	現道拡幅
		その他	—	—	—	—	—	
B：関連社会資本事業	—	—	—	—	—	—		
C：効果促進事業	市町村	調査等	—	18	18	15	3	路面性状、法面変状調査等

目標達成状況

指標①	計画の成果目標	歩行空間を2.4km（H25）確保する。		
	定義及び算定式	「歩行空間の確保」＝単年度の整備延長		
	達成状況	達成度 ⇒ 100%		
	通学路である長島町道川床脇崎線ほか1箇所において、路肩部のカラー舗装による簡易歩道整備を行い目標を達成できた。	当初現況値 (H21)	最終値 (H25)	
	目標値	—	2.4km	
	実績値	—	2.4km	
指標②	計画の成果目標	舗装を31.1km（H25）修繕する。		
	定義及び算定式	「舗装延長」＝単年度ごとの舗装延長の積上げ		
	達成状況	達成度 ⇒ 81%		
	薩摩川内市道隈之城高城線ほか30箇所において、老朽化した舗装の補修を行ったが、当初計画していた区間のうち6kmについては補修できず目標達成できなかった。	当初現況値 (H21)	最終値 (H25)	
	目標値	—	31.1km	
	実績値	—	25.1km	

今後の方針

国道3号線と市道を結び、通学路でもある阿久根市道中央線や北薩広域公園へのアクセス道路であるさつま町道城之口下原線など、H26年度より新たな整備計画にて鋭意整備を促進し早期供用に努める。



計画名称

薩摩半島北西部における高速交通網の活用と、都市と農山村との連携強化による暮らしやすい生活環境づくり(防災・安全)

【事業主体】鹿児島県, 薩摩川内市, 阿久根市, さつま町, 長島町

事業効果発現事例

修繕 (舗装)

くまのじょう・たき さつませんだいし くまのじょう・たき
1級市道 隈之城・高城線 (薩摩川内市 隈之城・高城地区)



ひび割れが著しく、通行車両にとって危険な状態。

★整備効果★

- 著しく老朽化した舗装の修繕を行うことで、自動車、歩行者等の通行の円滑化及び安全性の向上が図られました。
- ◆通行車両の事故防止
- ◆バイク、自転車等の安全確保

修繕 (舗装)

ちゅうおう あくね つるみ
1級市道 中央線外9工区(阿久根市鶴見地区)



舗装のひび割れや凹凸により安全な通行に支障。

★整備効果★

- 阿久根市役所・消防署・市民会館などの官公署へのアクセス・快適性の向上、また、利用者の通行の円滑化と安全性の確保が図られました。
- ◆車両通行の円滑化
- ◆振動・騒音等の快適性の向上
- ◆車両通行の安全性の向上

修繕 (舗装)

しろのくちしもはら ふなき
1級町道 城之口下原線 (さつま町 船木地区)



路面に亀裂ひび割れによる段差

★整備効果★

- 舗装のひび割れの改修により車両通行時の走行性の向上が図られました。またひび割れ等による段差等で発生する騒音の解消も図られました。
- ◆路面補修により走行性が向上

災害防除 (法面)

やまかどのしおみ ながしま やまかどの
1級町道 山門野汐見線 (長島町 山門野地区)



★整備効果★

- 山門野汐見線は、道路改良により旧道を利用した拡幅工事を行いました。山側へ拡幅を行い、落石の危険があったため、防護柵を設置し、道路の安全性の確保が図られました。